

平成 25 年度 第 3 回 教育・研修検討委員会 議事録

日時	2014-4-23 10:00~12:00	作成	伊藤	前回	2014-2-5
場所	仏教伝道協会ビル3階会議室 (徳の間)				
出席者	出席：富田委員長、森副委員長、田口信康氏（田吹委員代理）、横山委員、鈴木委員、小西委員、榎本委員、増田庄司氏（今川委員代理） 欠席：なし (順不同、敬称略)				
議事	1. 技術講習会について 2. 第2回学術集会について 3. その他				

議 事 内 容

横山委員により前回議事録を確認し、字句が追加された。また、小西委員より機関誌の名称が「繊維状物質研究」となったこと、創刊号が平成26年6月に発刊予定であること、来年度以降は年に2回発刊のよていであることが追加で報告された。その後議事に入った。

1. 技術講習会について

建築物等の石綿除去作業時の環境管理に係る実技講習会のご案内(案)に基づいて小西委員より説明があり、以下のように追加・修正された。

- ① 後援予定に（公社）日本作業環境測定協会 精度管理センターとあるが、精度管理センターを削除する。
- ② 改訂された「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル2014、暫定版」は「～マニュアル2014.3 暫定版」である。
- ③ 受講費用については、講習会場の借料や機器等の設置費用次第で受講料が変わる可能性がある。
- ④ 受講費用は、原則、前払いとする。
- ⑤ 当日持参してもらうものの名前が作業着と作業服と記載され、統一されていないので、「作業衣」とする。
- ⑥ 申込書の希望開催日の欄に、第1希望から第3希望まで記入できるようにする。

また、本日（4月23日）午後に指導員を担当いただく方に集まってもらい、講習会の具体的な進め方等について検討することが報告された。

(次ページへ)

次に、小西委員より（公社）日本作業環境測定協会に提出する予定の『「建築物等の石綿除去作業時の環境管理に係る実技講習会」ご後援のお願いについて』の説明があり、本文の6行目の「～開催に関し」を「～講習会に関し」に修正することとなった。

2. 第2回学術集会について

小西委員より、第2回日本繊維状物質研究学術集会 開催案内(案)に基づいて説明があり、第2回学術集会が平成26年8月6～7日に早稲田大学理工学部で開催されることが確認され、以下のように追加・修正された。

- ① 開催場所が早稲田大学となっているが、西早稲田キャンパスの理工学部なので、それとわかるように表記する。
- ② 第2回学術集会の一般研究演題および事例研究演題について、次のように決定した。
募集期間は平成26年5月12日(月)から6月20日(金)
抄録原稿の締切日は平成26年7月18日(金)
- ③ 展示出展募集(案)については、開催案内(案)と同様に、展示場所を早稲田大学理工学部と表記する。
- ④ 展示費用は2名分の学術集会と交流集会の参加費として20,000円とする。
- ⑤ 機器用のコンセントについては、展示会場に確認後、100V、〇〇Wと表記する。

また、一般・事例研究演題以外にシンポジウムと特別講演を開催することとなり、以下のことが決定した。

(1) シンポジウムについて

『繊維状物質の計測に係る歴史と今後の課題』というテーマで2時間程度を予定している。司会は小西専務理事、演者としては、名古屋先生、ニコンの方、柴田科学の方に依頼する。

(2) 特別講演について

以下の3題について各1時間の講演を依頼する。

- ・アスベストの法規制関係
演者：富田委員長
- ・建築物等の解体等の作業での労働者の石綿ばく露防止に関する実験報告
演者：鈴木委員
- ・生体影響：欧米における繊維状物質規制の動向（セラミックの話を含む）
演者（案）：戸塚優子氏（ニチアス(株)）

(次ページへ)

3. その他

- ① 建築物等の石綿除去作業時の環境管理に係る実技講習会の案内と、第2回日本繊維状物質研究学会の開催案内とも募集期間が5月12日(月)からなので、会員になるべく早く送れるように手配することとなった。
- ② 次回委員会は7月24日(木)14時から開催することとなった。

【配布資料】

- ・ 第2回教育・研修検討委員会議事録
- ・ 建築物等の石綿除去作業時の環境管理に係る実技講習会のご案内(案)
- ・ 実技講習会の後援依頼文書
- ・ 第2回日本繊維状物質研究学会 開催のご案内(案)